

2021年5月25日

サノフィが支援する日本糖尿病学会賞 「女性研究者賞」第3回受賞者が決定

- 女性医師の糖尿病研究業績を表彰 -

サノフィ株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:岩屋孝彦、以下「サノフィ」)では 2019 年より糖尿病研究における女性医師の業績を表彰する、日本糖尿病学会賞「女性研究者賞」を支援しており、第 3 回目の受賞者が決定しましたので、お知らせいたします。

授与式は、一般社団法人 日本糖尿病学会(理事長:植木 浩二郎、所在地:東京都文京区、以下「日本糖尿病学会」)がオンラインで開催した、第 64 回日本糖尿病学会年次学術集会(5月20日から5月22日)にて、5月21日に行われました。受賞者は以下の方です。

受賞者(所属)	中司 敦子 (岡山大学病院 腎臓・糖尿病・内分泌内科)
研究業績	糖尿病合併症におけるバスピンの作用と新たな病態解明

日本糖尿病学会の会員医師に占める女性医師の割合は約 35%と、国内の医師総数に占める女性医師の割合(約 22%)を超えています。サノフィはダイバーシティを推進し女性の活躍支援に取り組んでいることから、さらなる女性研究者の活躍を目指した本賞を 2019 年より支援しています。受賞者は毎年 1 名、顕著な糖尿病研究業績をあげた同学会の女性会員から選ばれ、盾と奨励金 50 万円が授与されます。

日本糖尿病学会の植木浩二郎理事長は「中司先生、今回の『女性研究者賞』ご受賞、大変おめでとうございます。多年にわたる先生のメタボリックシンドローム研究の成果の賜と思います。今後さらに糖尿病学の発展に貢献されるものと思いますが、女性研究者のロールモデルとして、ますますのご活躍を祈念しております」と祝辞を述べています。

受賞された中司先生は、「この度は『女性研究者賞』を受賞させて頂き、大変光栄に存じます。関係の皆様や、いつも協力してくれるグループのメンバーに心より感謝申し上げます。今回の受賞を励みに、引き続き少しでも社会に貢献できるような研究を目指して努力を重ね、また研究の面白さを若い先生方に伝えられるよう尽力してまいりたいと存じます」と抱負を述べられました。

サノフィのジェネラルメディスンビジネスユニット JPAC リージョンヘッド 日本ジェネラルマネジャーの坂本和繁は、「中司先生に心よりお祝い申し上げます。糖尿病はいまだアンメットニーズのある領域です。サノフィは糖尿病の疾患啓発や多岐にわたる治療の選択肢の提供を通じて、日本の糖尿病患者さんが安心して治療を継続できるよう努めるとともに、これからも女性の活躍推進に向けて傾注してまいります」と述べています。

以上



一般社団法人日本糖尿病学会について

日本糖尿病学会は、1957年12月、糖尿病学の進歩・発展を図り、国民の災害を防止することを目的とした任意団体として設立されました。創立以来、糖尿病の成因と治療に関する学術研究活動を継続し発展させてきたと同時に、その社会的使命を果たすべく、糖尿病の治療環境の向上を目指した活動を行ってきました。2012年には一般社団法人 日本糖尿病学会として現在に至り、2021年度現在の会員数は17,000名を超えます。

サノフィについて

サノフィは、健康上の課題に立ち向かう人々を支えます。私たちは、人々の健康にフォーカスしたグローバルなバイオ医薬品企業として、ワクチンで人々を守り、革新的な医薬品で痛みや苦しみを和らげます。希少疾患をもつ少数の人々から、慢性疾患をもつ何百万もの人々まで、寄り添い支え続けます。

サノフィでは、100カ国において10万人以上の社員が、革新的な医科学研究に基づいたヘルスケア・ソリューションの創出に、世界中で取り組んでいます。

サノフィは、「Empowering Life」のスローガンの下、ヘルスジャーニー・パートナーとして人々を支えます。

日本法人であるサノフィ株式会社の詳細は、<http://www.sanofi.co.jp> をご参照ください。